

栃木県佐野市立北中学校

第2学年「生き方教室」講演資料

自分の未来は自分の力で切り開こう
— 自分の進路は自分の力で考え、切り開こう —

公益社団法人 栃木県経済同友会

幹事 林 明夫

日時：2016年10月25日(火)

13：45～14：35

場所：佐野市立北中学校

お読みになりやすいように、QandA の形で資料を作成いたしました。参考になると思われるところには下線等を引き、後で読み返して自分のものとしてお役に立ててください。

Q 1 : 本日の講演会の目的は何ですか。

- A : (1)「働くこと」や「生き方」に関する講話をお聴き頂き、
(2)生徒の皆様おひとりおひとりが進路や将来の生き方を真剣に考え、
(3)自己実現に向けて、様々な活動に意欲的に取り組む態度を身に着けること。

Q 2 : それではお聞きします。人はなぜ働くのですか、仕事をするのですか。

- A : (1)仕事をして、お客様のお役に立つため、社会のお役に立つため
(2)仕事をして、生活できるだけの収入を得るため
(3)仕事をして、自己実現をするため



Q 3 : 仕事をしてお客様の役に立つ、社会の役に立つとはどういうことですか。

- A : (1)どのような仕事にもお客様(顧客)がいます。
(2)仕事とは、お客様の問題を解決することです。
・仕事とは、お客様の問題を解決することで、お客様のお役に立つことだと考えます。
(3)同じような問題を抱えたお客様は、社会にたくさんいらっしゃいますので、仕事とは社会の問題を解決することでもあります。
・仕事とは、社会の問題を解決することで、社会のお役に立つことでもあります。
(4)すべての仕事には「社会的使命(Mission, ミッション)」があります。1つ1つの仕事や職場の「社会的使命(ミッション)」の大切さ(価値)を十分に理解して、「高い志」をもって自分の仕事に励むことが大切です。
(5)自分の仕事の社会的使命(ミッション)に基づき、お客様の問題とは何か、その問題をどのように解決したらよいかをお客様の立場で考え、自分から進んで主体的に問題解決に励むとお客様のお役に立ち、社会のお役に立ちますので、「生活できるだけの収入」を得ることができ、また、「仕事を通して自己実現」を果たすこともできます。



Q 4 : 職業選択時、つまり、仕事を選ぶときの留意点、気を付けなければならないことは何ですか。

A : (1) その職業、つまり、仕事の社会的使命(ミッション)とは何かをよく知ることです。

(2) お客様は誰か、その仕事はどのようなお客様のどのような問題を解決するためにあるのか、社会のどのような問題を解決するためにあるのかをよく調べ、考えることが大事です。

(3) 仕事とは、お客様や社会の問題を解決することですので、現在の世の中にはどのような問題があるのか、また、これから迎える世の中にはどのような問題があるのかを知ることが大切です。

(4) お客様は日本だけではなく、世界中にいますので、世界のお客様の問題は何かを知ること欠かせません。

(5) そこで、お勧めしたいことは

- ① 新聞を毎日一面からじっくりと読み、日本はもちろん世界の動きや問題をよく知ることです。
- ② TV の特集番組などを注意深く見て、日本や世界の政治、経済、科学、文化などの動きや問題を知ることです。
- ③ いろいろなところに出掛けたときに、ここではどのような人が、お客様のどのような問題を解決するためにどのような仕事をしているのかを考えてみることです。



Q 5 : 「働くこと」つまり「仕事をする事」の厳しさとは何ですか。

A : (1) ① どのような仕事にも競争相手(ライバル)がいます。

② たとえ、今はなくても、競争相手はどんどん出てきます。

③ 日本だけでなく、世界中に競争相手があります。

④ 国内外の競争相手との激しい競争が、働くこと、仕事をする事の厳しさといえます。

(2) どのような競争があるか。

- ① 製品やサービスの内容がお客様の問題解決になっているか
- ② お客様にとって買いやすい価格か
- ③ 便利な場所で提供されているか
- ④ 広告・宣伝はわかりやすいか



Q 6 : 進学するときの留意点、具体的には高校や大学・短期大学・専門学校・専修学校・大学院などに進学するときに注意すべきことは何ですか。

A : (1)何のために上級学校に進学するのか、進学して何をするのかを自分の力で考えた上で、具体的な志望校を決定することが大切です。

(2)ただし、すべての学校は勉強する場所ですので、進学して何を勉強するのが大切です。

*もちろん部活動も大切ですが、勉強をきちんとした上で部活動に励んでくださいね。

(3)高校進学の場合は、高校卒業後の職業に直結する高校も多いので、その仕事について中学校時代に十分に調査することをお勧めします。

*その場合も、高校だけの勉強では不十分なことが多いので、高校卒業後に大学や短期大学、専門学校、専修学校、さらには大学院に進学することをお勧めします。

(4)高校卒業後に大学や短期大学、専門学校、専修学校、さらには大学院に進学を希望する場合は、希望するところに進学が果たせる高校を志望校とすることをお勧めします。

(5)工業系の高校に進学して大学までの進学を希望する人には、高1から5年間一貫教育を行う「工業高等専門学校」(高専)もお勧めです。

(6)卒業後にどのような仕事に就きたいのか、どのような社会的活動をしたいのか、どのような人生・一生を送りたいのかをよく考えた上で、高校を選択することが極めて重要です。

(7)そのためにも、中学・高校時代に新聞を毎日読み、また、TVの特集番組などを欠かさず見て、日本や世界の動きや問題を知ることが大切です。

(8)これに加えて、中学・高校時代には、腰を落ち着けて古典を中心にして本をじっくりと読み、「筆者(作者)との時空を超えた対話」を行うことで、自分は一体何者なのか、何のために何を求めて、どのように生きてらよいかを考えることをお勧めします。読書により得られるのは思慮深さです。読書による思慮深さこそが、生きていく上で大切です。

Q 7 : 中学生のときにやっておくべきことは何ですか。

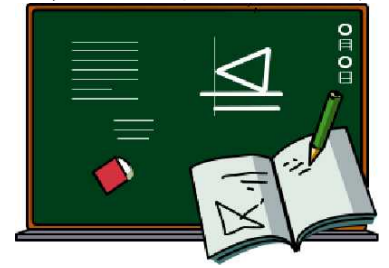
A : (1)一番大切なのは、全教科の学習です。



①小学校、中学校、高校で学ぶことで、世の中で役に立たないことや社会に出てから役に立たないことは何ともありません。全教科のすべての項目が役に立ちます。一生役に立ちます。ですから、全教科のすべての項目を真剣に勉強してください。

②中学校や高校の各学年、各学期で学ぶことは、学校で二度と学ぶことはありません。この時、この時期にだけ学ぶことができます。この貴重なチャンスを逃すことなく、真剣に学んでください。

③小学校、中学校、高校、大学などの勉強は、社会に出てから一生役に立つものばかりですので、学校の教科書や教材、授業中のノート、辞書などは決して処分しないで一定の場所に保存。各学校時代を思い出しながら、一生に渡って繰り返し学び続けてください。



(2)「学び方」も学び続け、身に着けること。

①世の中はどんどん変化し続けますので、社会に出てからも学ばなければならないことは山ほどあります。大切なのは、自分から進んで「主体的に学ぶ力」を身に着けることです。

②特に、どのように学んだらよいか、つまり、「学び方」を学ぶ力を身に着けることが大切です。

*自分の力で勉強して試験を受け、合格しなければならないことはたくさんあります。試験を受け、合格するための学び方を身に着けることも大切です。

(3)授業中に大切なことはノートに取る能力を身に着けること。

①仕事には教科書がありません。大切なことは「メモ」をし続け、そのメモを自分なりに整理し、理解した上ですべて正確に身に着けてはじめてお客様のお役に立つ仕事をすることができます。

②その練習だと考えて、授業中に大切なことはノートに取り続け、後でノートを自分なりに整理し、理解した上ですべて正確に身に着けて定期試験などに臨んでください。それにより、学校でもよい成績が取れ、将来社会でも役に立ちます。



(4)最も大切なのは、「予習の習慣」を身に着けて高校や大学などに進学し、社会に出て仕事や社会的活動をするということです。

①与えられた課題を自分の力で考え、調べ、まとめてから授業に臨むこと、仕事や社会的活動に臨むことが重要です。

②そこで必要なのが「予習の習慣」です。

③テキストや資料を自分の力で読み込んで理解し、分析すること。

④よくわからない「ことば」があったら「気持ちが悪い」と考え、辞書や用語集、参考書などで調べる。調べた内容はすべてノートに書き写し、その場で覚えること。

(5)授業後は、「ノートを整理」しながらその日の授業で行ったことをもう一度すべて勉強し直し、十分に理解することも大切です。

①「音読練習」(スラスラとよく読めるようになるまで声を出して読む)

②「書き取り練習」(正確に書けるまでに)

③「計算・問題練習」(計算・問題を見た瞬間に答えが出るまでに)

(6) 「5S」も中学・高校時代に身に付けてください。

- ①「整理」 seiri 不要なものを捨てる
- ②「清掃」 seisou きれいに掃除(そうじ)する
- ③「整頓」 seiton ものはいつも同じところに置く
- ④「清潔」 seiketsu いつも①～③を保つ
- ⑤「躰」 shitsuke 自分から進んで行く



(7) 別の意味での「躰」(しつけ)も大切です。

- ①美しい立居振舞(たちいふるまい)
 - *大きな声で元気にあいさつする
 - *服装も大事
- ②敬語表現(けいごひょうげん)を含む言葉遣い(ことばづかい)
 - *「です・ます調」で話せること



(8) スポーツや芸術活動に励むこと、学校行事や生徒会活動に積極的に参加することも大切です。

- ①学校での教科以外の教育活動は社会に出てすべて役に立ちます。
- ②学校時代に行った様々な活動を社会に出てからも一生涯継続すると、豊かで充実した人生が送れます。

Q 8 : 最後に一言どうぞ。

A : (1) 私の好きなことばを紹介します。

- ①「ブルドッグ魂(だましい)、食いついたら離すな」
- ②「練習で泣いて、試合で笑え」
- ③「一生勉強、一生青春」

(2) 中学校時代の友達是一生の友達、先生は一生の恩師です。少しずつでも友情を育てよう。

(3) 自分の家族のよさ、友達のよさ、佐野北中のよさ、佐野市のよさ、栃木県のよさ、日本のよさを少しずつでも探そう。自分のよさも少しずつ探し、遠慮せずにどんどん伸ばそう。

感謝

ご清聴を感謝いたします。

A series of 20 horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for writing or drawing.